

Ⅱ だれもが健やかに暮らすために ～健康福祉分野～

健康福祉分野では、区民が身近な地域の中で、必要な保健・医療・福祉のサービスを利用しながら、お互いに支え合っ
て、地域で健やかに暮らしている状態をめざします。

●印は、健康福祉分野の各政策で展開する主な取組項目です。

政策 21 地域で福祉を支える

だれもが健やかに地域で暮らしていくためには、公的な保健福祉サービスと地域の団体や個人からの支援を組み合わせ
ていく必要があります。区民の方が地域の福祉活動に参加しやすい仕組みが整備され、福祉サービスが総合的かつ適切に提供
されている状態をめざします。同時に、ともに生き、ともに生活できるような社会（ノーマライゼーション）が地域の中で
理解される状態をめざします。

- （仮称）地域福祉パワーアップカレッジの設立による地域福祉活動の担い手の育成など、地域福祉活動への参加促進
- 地域で自主的に行う普及啓発活動（福祉マップづくりなど）への支援
- 保健・医療・福祉の連携による総合支援体制の確立
- 地域福祉活動団体の登録制度の新設
- 福祉のまちづくりの推進

《施策の成果を測る指標（モノサシ）と、5年後の「みんなでめざそう値（目標値）」》

指 標	16年度実績	22年度目標	方 向
地域福祉活動団体との協働事業数	8件	16件	↑
地域福祉活動団体交流会の参加者数	—	600人	↑
精神障害者ホームヘルプ事業の相談から開始までの日数	52日	45日	↓
保健分野と福祉分野の共同研修開催回数	3回	10回	↑
福祉のまちづくりの活動に参加した延べ人数	1,000人	15,000人	↑



《長期計画事業》

計画事業名	平成22年度末 目標	平成17年度末 現況	5年間の 事業量	事業費 (百万円)
（仮称）地域福祉パワーアップカレッジ事業の 実施	4コース	—	4コース	7